授業科目　精神保健学

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	社会（精神保健福祉コース必修選択）
渡邉　良弘	開講時期	後期	必修･選択	選択
	単位数	4	時間数	60

【概要・一般目標：GIO】

社会と身体、精神をあわせた視点から精神保健の基礎を知ることにより、人の一生における精神保健の課題、パーソナリティ形成と学校・職場・家庭における適応の問題、地域社会と精神保健の相互関係について、臨床につながる常識的判断と関連づけることができる。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 精神保健とは何か、あらましと意義を知る
2. ライフサイクルと精神保健についての認識を得る
3. 家庭・学校・職場・地域社会における精神保健問題について知る
4. 精神保健の施策と法について学ぶ
5. 諸外国の精神保健とわが国の精神保健を比較することができる

回数	授業計画・学習の主題		SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	精神保健とは	概要と背景	1	講義　金曜日の連続２コマを
2	〃	精神保健の課題	1	講義　用いる
3	人と環境と精神保健	人間生態学とは	1	講義
4	〃	人間生態学と精神の健康、環境	1	講義
5	人の生涯と精神保健（１）	ライフサイクルと精神保健	2	講義
6	〃	胎児期、乳児期における精神保健	2	講義
7	人の生涯と精神保健（２）	幼児期における精神保健	2	講義
8	〃	児童期における精神保健	2	講義
9	人の生涯と精神保健（３）	思春期・青年期における精神保健	2	講義
10	〃	成年期における精神保健	2	講義
11	人の生涯と精神保健（４）	老年期における精神保健	2	講義
12	〃	喪失・悲嘆と精神保健	2	講義
13	生活の場所と精神保健	家庭・学校における精神保健	3	講義
14	〃	職場・地域における精神保健	3	講義
15	精神保健問題の診断（１）	精神障害の分類	3	講義
16	〃	精神保健問題について	3	講義
17	精神保健問題の診断（２）	ひきこもり　非行　不登校	3	講義
18	〃	依存症　アルコール　薬物乱用	3	講義
19	精神保健問題へのアプローチ（１）	精神障害	3	講義
20	〃	認知症	3	講義
21	精神保健問題へのアプローチ（２）	薬物、子どもと家庭	3	講義
22	〃	思春期精神保健	3	講義
23	精神保健問題へのアプローチ（３）	地域精神保健	3	講義
24	〃	ターミナルケアと精神保健	3	講義
25	わが国の精神保健対策		4	講義
26	〃	精神保健の法制度	4	講義
27	各国の精神保健		5	講義
28	〃	世界的な精神保健課題	5	講義
29	現代社会と精神保健		5	講義
30	まとめ			

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	臨床に必要な精神保健学	松久保章（編）	弘文堂	2,700円＋税
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

出席状況30%、前期試験70%である。

【履修上の留意点】

著しい私語など授業の妨げや迷惑行為はその都度注意する。